

2023年11月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

希望の年収の決め方

「高くした」 19.5%、「同程度とした」 46.5%、「低くした」 34.0%

株式会社アイデム

東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2023/11/01～2023/11/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2023/11/02～2023/12/05（34日間）

調査方法

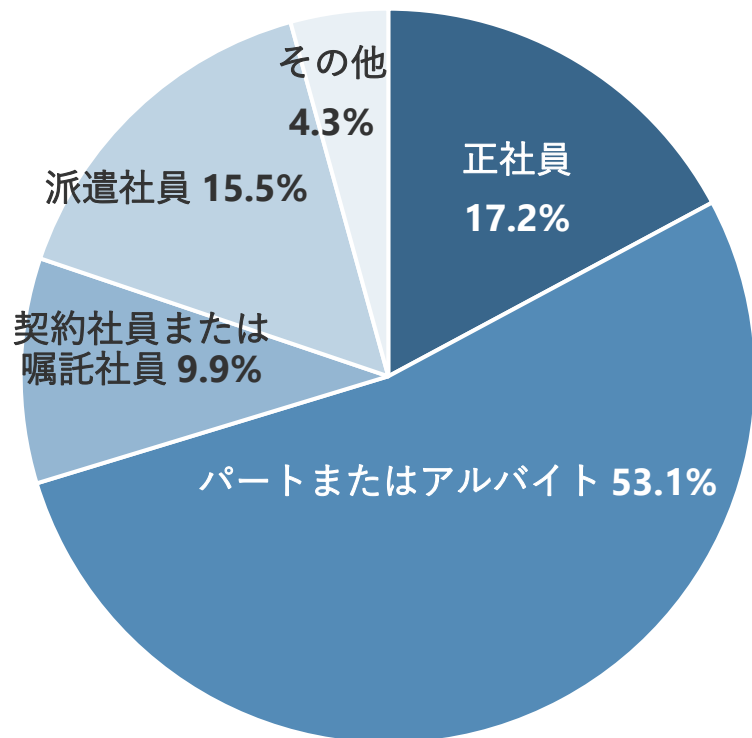
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

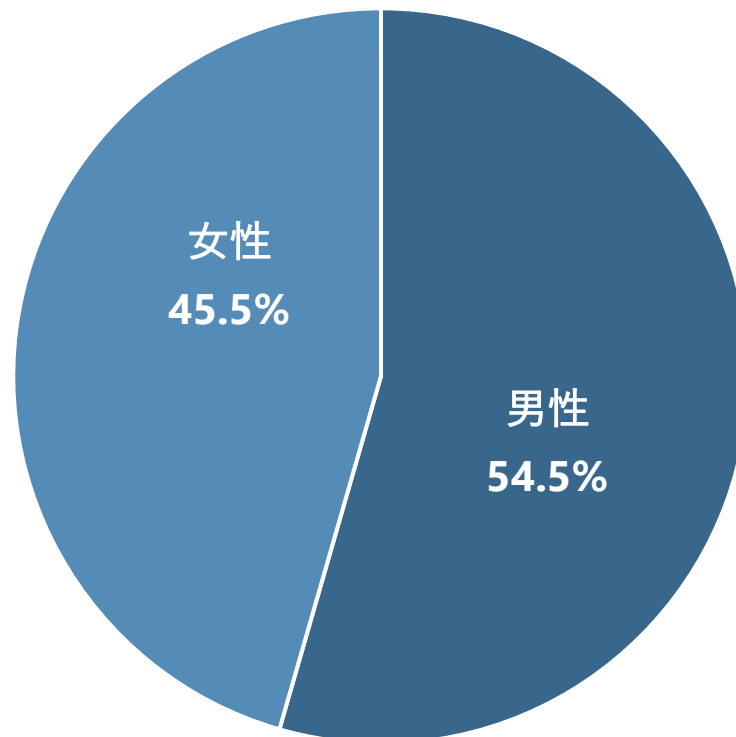
- ▶303件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



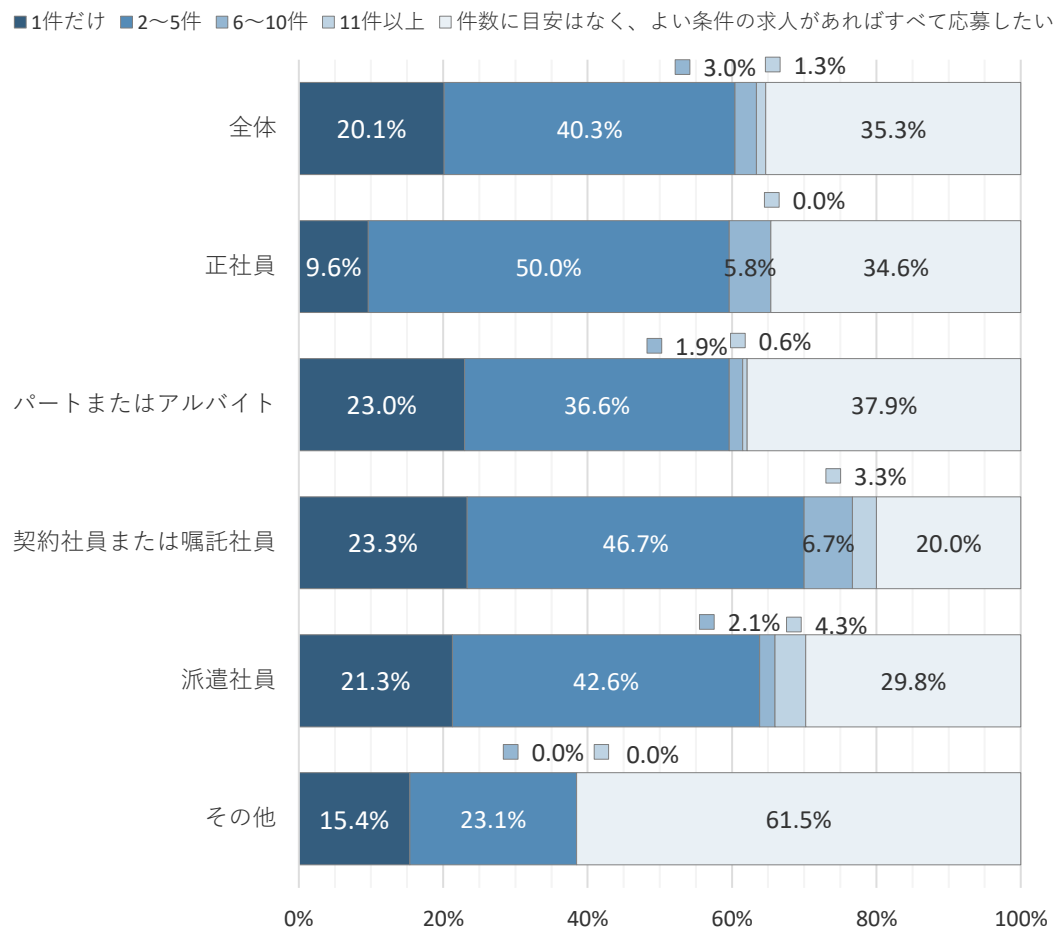
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く40.3%、次いで「件数に目安はなく、良い条件があればすべて応募したい」が35.3%、「1件だけ」が20.1%、「6～10件」が3.0%、「11件以上」が1.3%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は8割となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「2～5件」の割合は50.0%で希望者の半数だった。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」応募するとした割合が23.0%だった。応募件数の目安は正社員を希望する人の方が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。

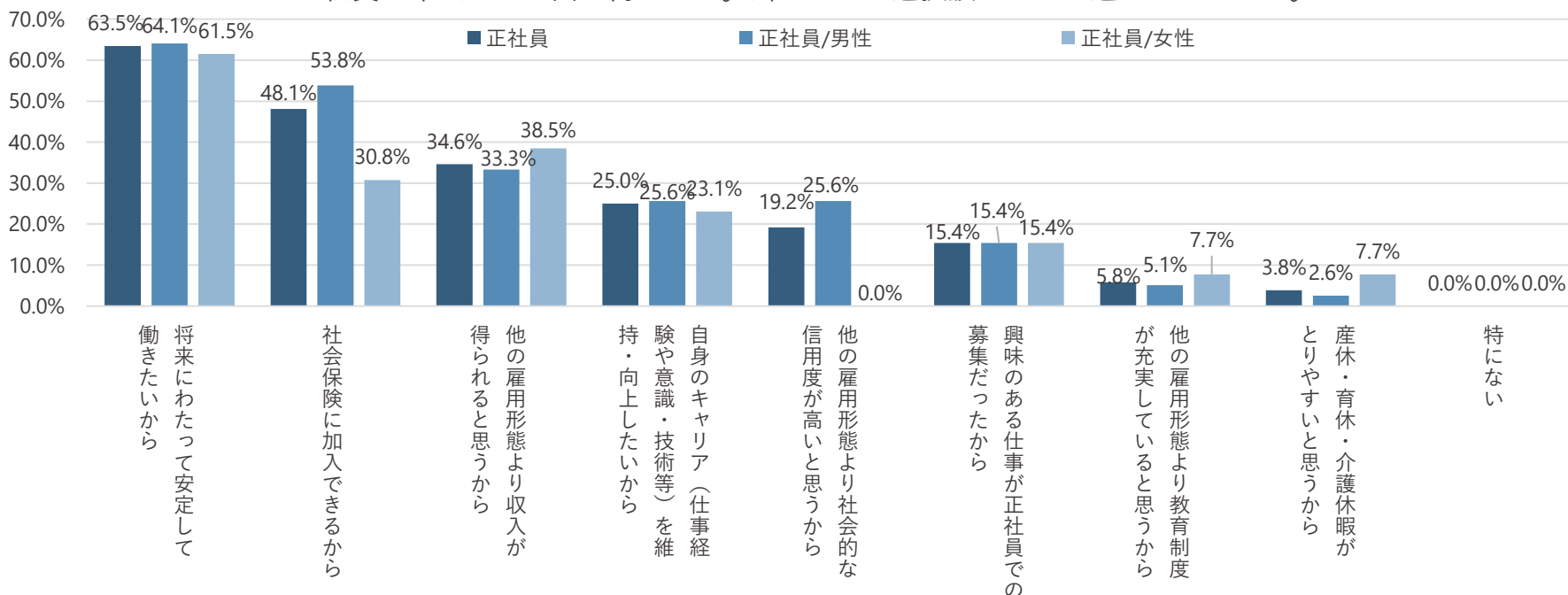


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で63.5%、次いで「社会保険に加入できるから」が48.1%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が34.6%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が25.6pt、「社会保険に加入できるから」が23.0%高くなった。信用度に関しては女性正社員希望者で選んだ人はいなかった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が5.2pt、「産休・育休・介護休暇が取りやすいと思うから」が5.1pt高くなった。収入面や、休暇制度を気にして正社員になりたい人が多いようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



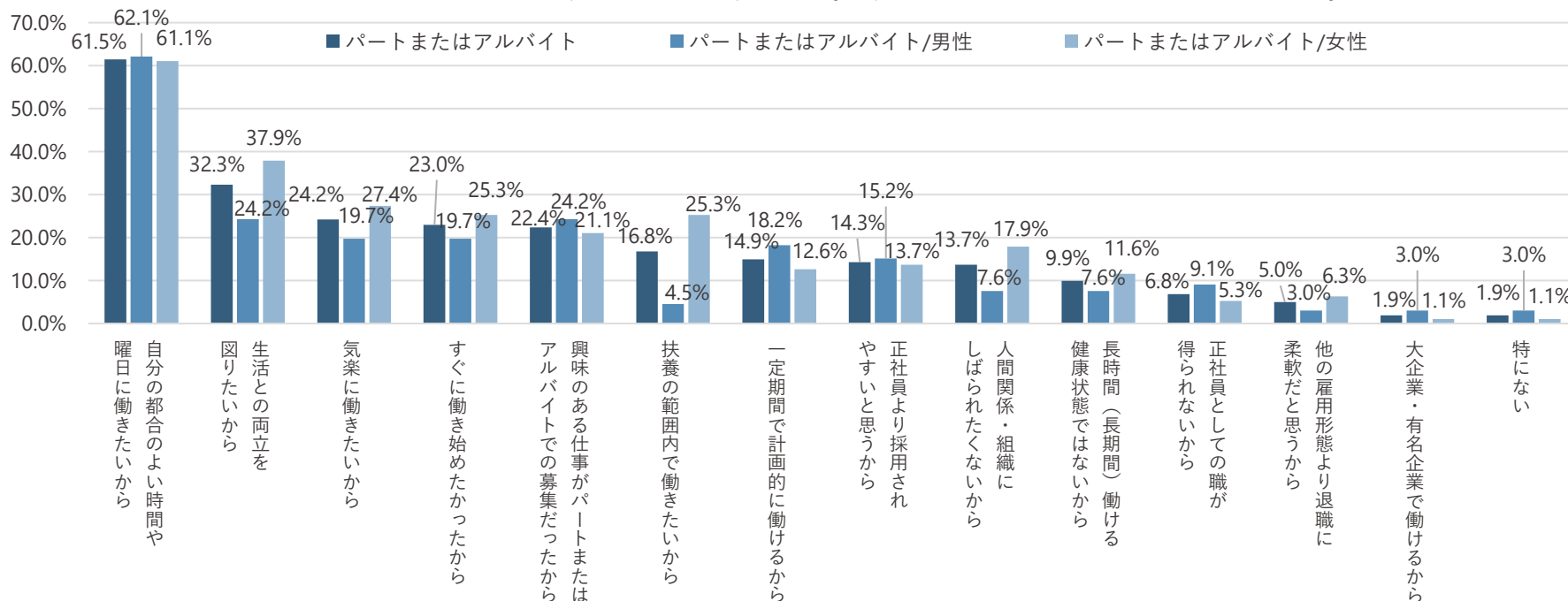
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で61.5%、次いで「生活との両立を図りたいから」が32.3%、「気楽に働きたいから」が24.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「一定期間で計画的に働けるから」が5.6pt高くなった。期間の定まっている仕事を希望する人が女性よりも多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が20.8pt、「生活との両立を図りたいから」が13.7pt、「人間関係・組織にしばらくたくないから」が10.3pt高くなった。家庭の仕事との兼ね合いでパートタイムを希望していたり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いことがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



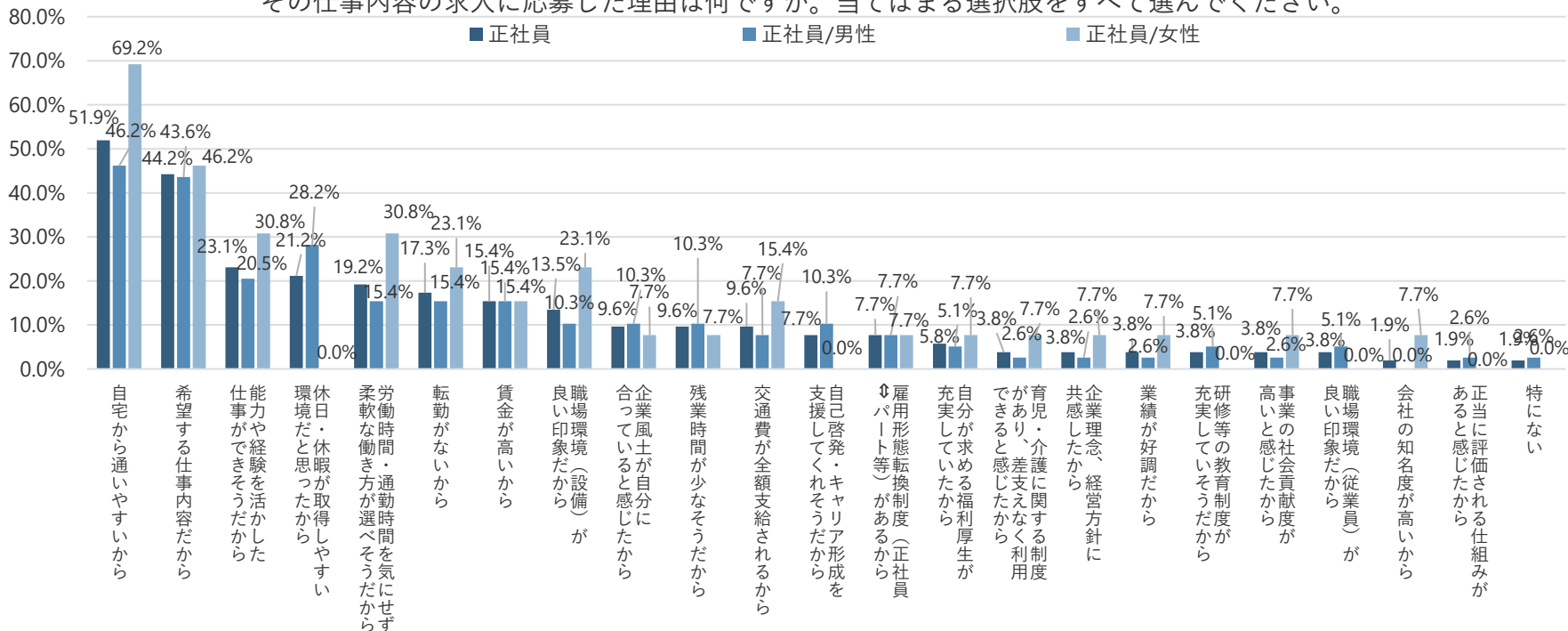
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」が51.9%、次いで「希望する仕事内容だから」が44.2%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が23.1%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が28.2pt、「自己啓発・キャリア形成を支援してくれそうだから」が10.3pt、「研修等の教育制度が充実していそうだから」が5.1pt高くなった。働く環境を気にして仕事選びをする人が多く、特にスキルアップに関心が集まっていることがわかる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が23.0pt、「労働時間・通勤時間を気にせず柔軟な働き方が選べそうだから」が15.4pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が12.8pt高くなった。通勤の負担が少ない職場に関心が高まっている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



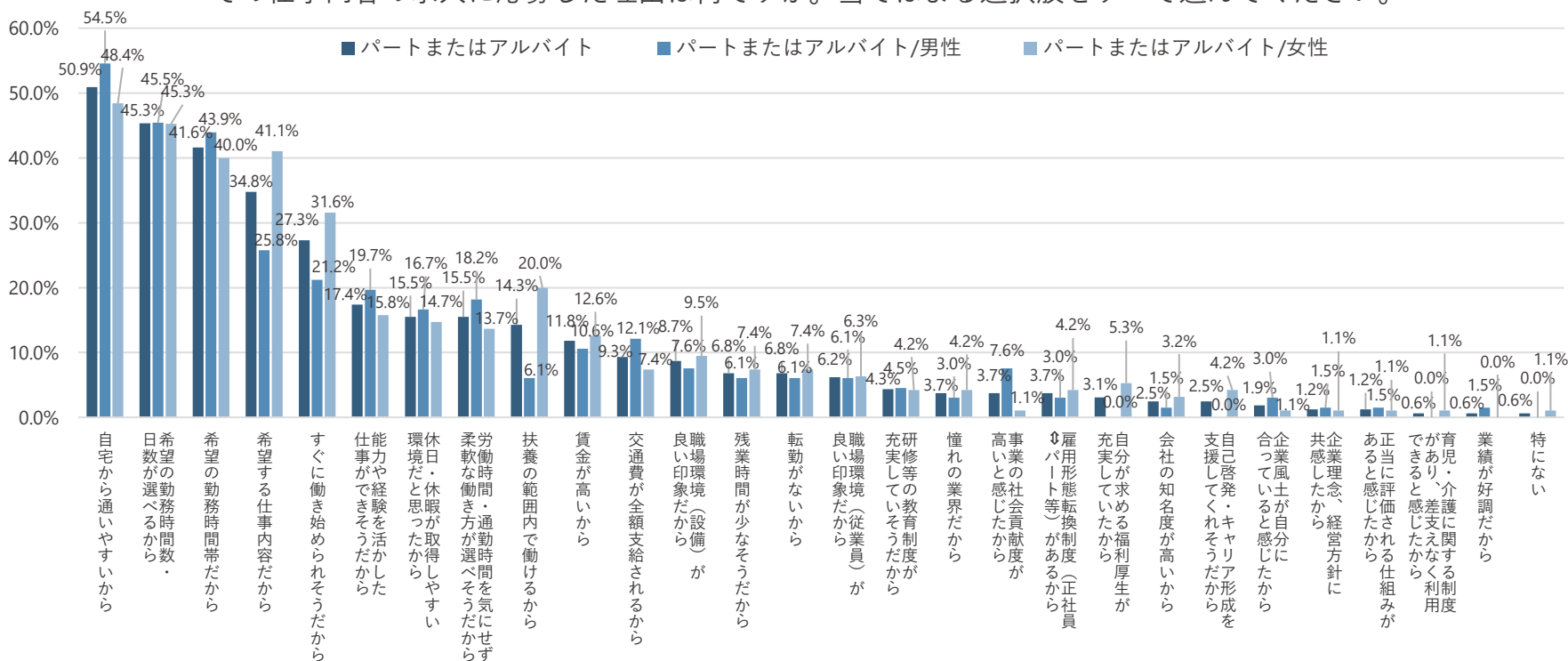
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で50.9%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が45.3%、「希望の勤務時間帯だから」が41.6%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が6.5pt、「自宅から通いやすいから」が6.1pt高くなった。社会のためになっているという実感が得られる仕事につきたい人が、女性よりも多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望する仕事内容だから」が15.3pt、「扶養の範囲内で働けるから」が13.9pt、「すぐに働き始められそうだから」が10.4pt高くなった。扶養の範囲内での仕事探しは女性パート・アルバイト希望者の大きな特徴となっている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

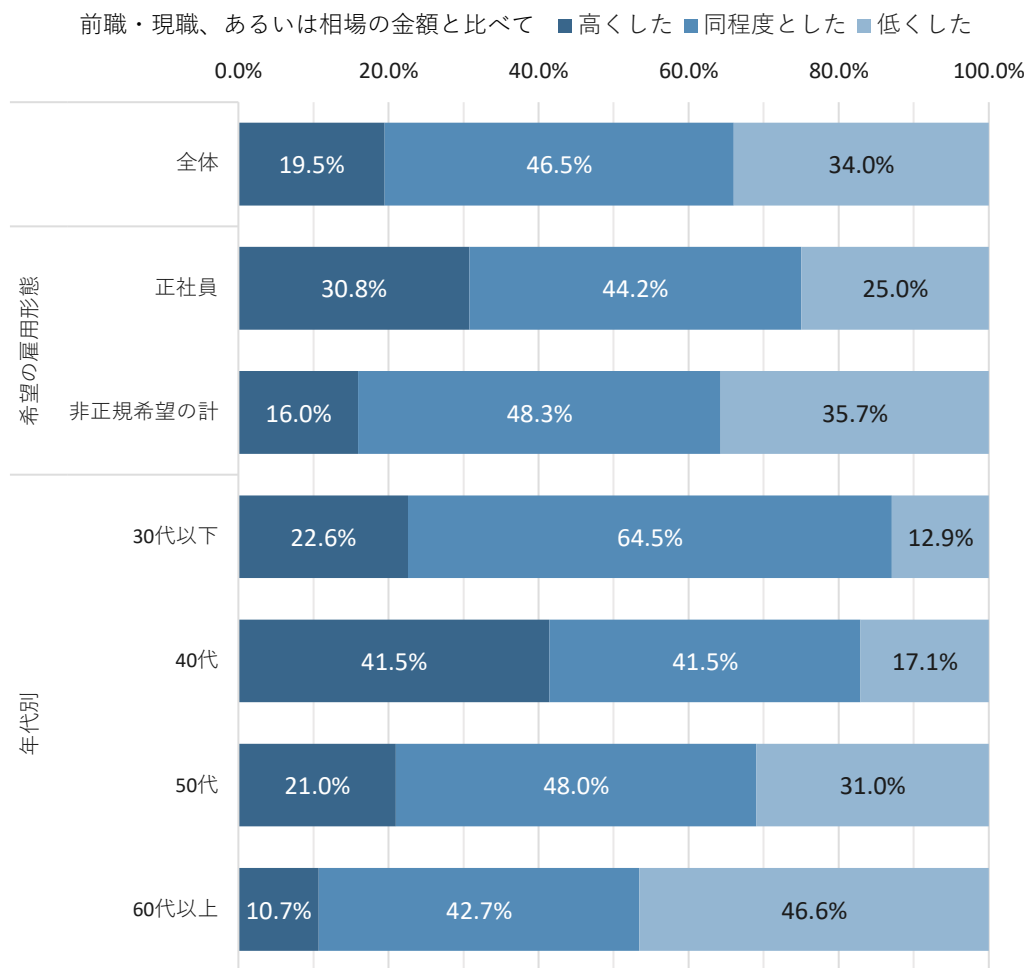


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、希望の年収の目安についてきいた。前職、現職、あるいは相場の金額と比べて「高くした」は19.5%、「同程度とした」は46.5%、「低くした」は34.0%となった。約半数の人が働いているときの金額や相場と同じくらいの収入を目安に活動していることがわかる。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「高くした」が30.8%となっている。年収アップを図りたい人も多いようだ。一方で「非正規希望の計」（パート・アルバイト、契約社員・嘱託社員、派遣社員の合計）では、「同程度とした」が48.3%、「低くした」が35.7%となった。正社員希望者と比べると「低くした」を選ぶ割合が高く、収入額は優先されていない印象を受ける。

年代別にみると、「30代以下」では「同程度とした」が64.5%で、目安と同程度に動いている人が半数以上だった。「40代」では「高くした」が41.5%となり、より収入を得られる仕事を探していることがわかる。「60代以上」では「低くした」が46.6%となり、年齢的にも「仕事につくこと」を優先している人が多い印象だ。私生活でのイベントや仕事面でのスキルアップなど、年代によって傾向がかなり異なることがわかる。

希望の年収の目安について、どう設定しましたか。



希望の年収の決め方 考慮した背景について

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、年収の目安（P10参照）とともに、考慮した背景についてきいた（複数回答）。最も多かった意見は「生活に必要な金額を考慮」で49.5%、次いで「働ける時間を考慮」が40.9%、「時間当たりの賃金を考慮」が23.8%となった。

希望の雇用形態でみると、「正社員」では「生活に必要な金額を考慮」が65.4%、「希望の勤務地の相場を考慮」が25.0%となった。正社員を希望する人では、生活水準の維持のためにも、相場が高い地域で就業したい人が多いのかもしれない。一方、「非正規希望の計」では「働ける時間を考慮」が46.2%、「時間当たりの賃金を考慮」が27.3%、「年収の壁を考慮」が18.5%となった。勤務できる時間に限りがある人も多く、様々な制限がある中で可能な収入をと考えていることが伺える。

年代別にみると、40代は「生活に必要な金額を考慮」が他年代に比べて突出しており、生活水準の維持にこだわりが強いようだ。また60代以上は「年金など社会保障給付のバランスを考慮」の回答割合が31.3%と他年代より高く、3位に挙がっている。

年収を設定するにあたり、どんなことを考慮しましたか。（複数回答）

